

- 「廃炉研究」、「ロボット研究・実証」を中心とする各プロジェクトは、予算確保を含め、着実に進捗中。
- あわせて、主要プロジェクト分野を対象に、地域産業の復興に資する実用化開発等を支援。

※本構想と連動しつつ、福島県を未来の新エネ社会のモデル拠点と位置付ける「新エネ社会構想」も推進中。（平成28年9月とりまとめ）

〔主なプロジェクトの進捗〕

ロボット研究・実証

ロボットテストフィールド【南相馬市、浪江町】

- 無人航空機、災害ロボット等の実証施設。平成28年4月に南相馬市及び浪江町に立地が決定。

産学官共同利用施設（ロボット）【南相馬市】

- ロボットの産学官共同研究施設。平成28年4月に南相馬市に立地が決定。

浜通りロボット実証区域【南相馬市等】

- 県内の橋梁、トンネル、ダム・河川等をロボット実証区域として指定。（7カ所：南相馬市、相馬市、檜葉町）

JAEA大熊・分析研究センター【大熊町】

- 燃料デブリや放射性廃棄物の処理、処分技術を開発。平成29年度の運用開始を目指す。

JAEA檜葉遠隔技術開発センター【檜葉町】

- 原子炉格納容器の調査・補修ロボット等の開発・実証試験等を実施。本年4月、本格運用開始。

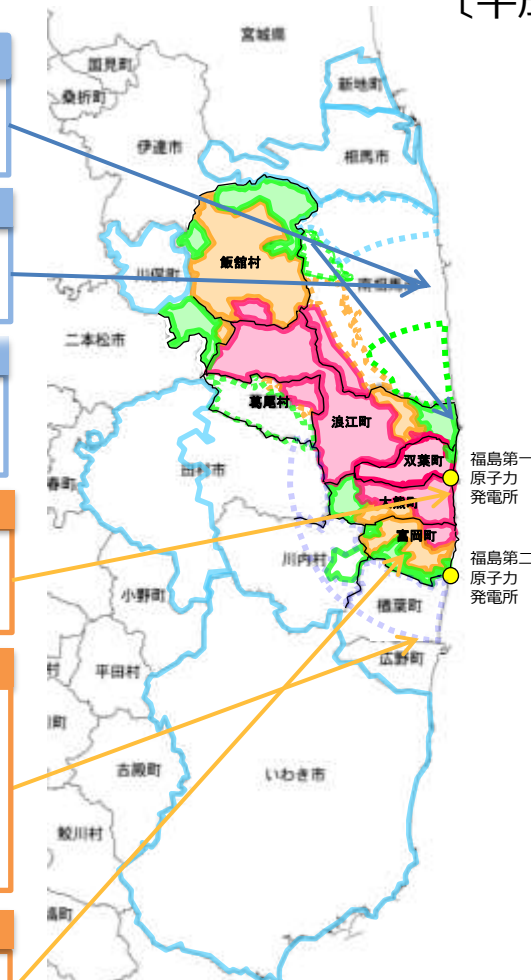


（モックアップ施設）

JAEA廃炉国際共同研究センター【富岡町】

- 国内外の大学、研究機関等により廃炉研究・人材育成の取組を強化。平成28年度中に整備予定。

廃炉研究



<イノベーション・コースト構想の対象地域>
(浜通り15市町村)

〔平成28年度予算(143億円(新規))〕

ロボットテストフィールド（51億円）

無人航空機、災害ロボット等の開発を加速するため、実証試験・性能評価等を実施するテストフィールドを整備。



イメージ図

共同利用施設（ロボット）（22億円）

屋内ロボットの基盤技術・要素術開発等を行う産学官共同施設を整備。



イメージ図

実用化開発等促進事業（70億円）

イノベーション・コースト構想の主要プロジェクト分野※について、実用化開発・実証等の費用の一部を補助。
※ロボット、エネルギー、環境・リサイクル、農林水産業、環境回復・放射線、医学（医療機器等）

実現可能性調査（FS調査）（1億円）

今後、各プロジェクトの具体化を進めて行くに当たり必要な調査等を実施。

主要プロジェクト

H29概算要求(主なもの)

ロボットテストフィールド

○無人航空機や災害対応ロボット等の実証拠点を整備

➢福島イノベーション・コースト構想(ロボットテストフィールド・研究開発拠点整備事業) 25.6億円(※51億円)
《平成28年度と平成29年度の2年間で76.6億円》



【国際産学連携拠点】
(イメージ)



国際産学連携拠点

○国際的な産学官共同研究室、大学教育拠点、技術者研修拠点、情報発信(アーカイブ)拠点より構成
○県内企業向け支援機能(技術支援、販路開拓支援等)の付与も検討

➢福島イノベーション・コースト構想推進施設整備等補助金(共同利用施設(ロボット技術開発等関連)整備事業) 44.2億円(※21.7億円)
《施設整備費:平成28年度と平成29年度の2年間で58.2億円(他は運営費等)》

廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟

○多様な分野の国内外の大学、研究機関、企業等が集結する場を福島に構築

➢ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト 43.1億円【新規】

➢東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃止措置等研究開発の加速プラン(廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟の整備等) 15.8億円(※6.5億円)

スマート・エコパーク

○浜通り地域を中心に環境・リサイクル産業の集積を図り、今後の持続可能な社会づくりを先導できる地域を目指す

➢福島イノベーション・コースト構想実現可能性調査等補助事業 2億円(※1億円)

➢地域復興実用化開発等促進事業 事項要求(※69.7億円)

エネルギー関連産業プロジェクト

○新たなエネルギーの創出(太陽光、風力、石炭火力、天然ガス等)
○エネルギーの地産地消(スマートコミュニティ形成、バイオマス等)
○関連産業の集積

➢福島沖での浮体式洋上風力発電システムの実証研究事業委託費 24億円(※40億円)
➢地域の特性を活かした地産地消型エネルギーシステムの構築支援事業費補助金 55億円(※45億円)
➢未利用エネルギーを活用した水素サプライチェーン構築実証事業 55億円(※28億円)
➢福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金 100億円【新規】
➢福島再生可能エネルギー研究開発拠点機能強化事業 10.8億円(※10.8億円)
➢微細藻類を活用したバイオ燃料生産のための実証事業費補助金 3億円(※2.5億円)
➢地域復興実用化開発等促進事業 事項要求(※69.7億円) <再掲>



提供:福島洋上風力コンソーシアム



農林水産業プロジェクト

○農業(スマート農業、農業用ロボットの開発等)
○林業(CLT、木質バイオマス等)
○水産業(水産研究拠点の機能強化)

➢福島イノベーション・コースト構想に基づく先端農林業ロボット研究開発事業 1億円(※1億円)
➢福島県水産試験研究拠点整備事業3億円(※0.4億円)
➢放射性物質対処型森林・林業再生総合対策事業 25.5億円(※27.8億円)
➢福島再生加速化交付金 1,011.5億円(※1,011.5億円)
➢地域復興実用化開発等促進事業 事項要求(※69.7億円) <再掲>

ロボットトラクタ



イノベーション・コスト構想の個別プロジェクトのスケジュール及び進捗状況(1/3)

※経済産業省資料

参考

分野	実施主体	立地場所	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)
廃炉研究	大熊分析・研究センター	JAEA	大熊町	既に事業化に着手 → 平成29年度運用開始 平成28年9月着工。平成30年3月に運用開始予定。			【凡例】 上段は、平成27年6月時点の計画 下段は、現時点の進捗状況	
	楢葉遠隔技術開発センター	JAEA	楢葉町	既に事業化に着手 → 平成27年夏頃運用開始 平成28年4月から試験棟を含めた本格運用開始。				
	廃炉国際共同研究センター 国際共同研究棟	JAEA	富岡町	既に事業化に着手 → 平成28年5月着工。平成29年3月に整備予定。				
ロボット研究・実証	ロボットテストフィールド	福島県	南相馬市 浪江町	詳細を検討 → 平成28年度以降事業化 平成28年度予算において、ロボットテストフィールド整備のため、51.0億円の予算を確保。平成28年4月に南相馬市及び浪江町への立地が決定。平成28年9月基本設計着手。			①「福島浜通りロボット実証区域」との連携 ②ロボット国際競技大会の開催 ③規制・認証取得などの仕組みの構築	国内外からのロボット産業集積を目指す
	福島浜通りロボット実証区域	福島県	南相馬市、 相馬市、楢葉町	平成27年4月1日公募開始 開発事業者から提案のあった実証試験のうち、13の実証試験を実施し、7つの実証区域が利用された。				
国際産学連携	国際産学官共同利用施設(ロボット)	福島県	南相馬市	詳細を検討 → 平成28年度以降事業化 平成28年度予算において、ロボット技術等の共同利用施設整備のため21.7億円の予算を確保。平成28年4月に南相馬市に設置することが決定。				国内外からのロボット産業集積を目指す
	国際産学官共同研究室(放射線の知識を必要とする多様な研究分野)	未定	未定	詳細を検討し、平成30年度以降事業化				
	情報発信拠点	福島県	双葉町	詳細を検討 → 平成28年度以降事業化(平成32年度運用開始) 県において、「基本構想策定検討会議」(平成28年6月)を立ち上げ。平成28年8月に双葉町に整備することが決定。				
	技術者研修拠点(廃炉人材)	未定	未定	民間主体で検討。平成29年度以降事業化				
	技術者研修拠点(防災)	未定	未定	民間主体で検討。平成29年度以降事業化				最先端のイノベーションを興す拠点の構築を目指す
	大学教育拠点	未定	未定	民間主体で検討。平成29年度以降事業化				
	ハイクブプラザ浜通り分所	福島県	未定	民間主体で検討。平成29年度以降事業化 体制構築に向け、具体的な機能、組織の在り方について検討中。				
スマート・エコパーク	福島県	未定	研究会設置 → 平成28年度以降事業化 個別リサイクル事業の早期事業化に向けた支援や人材育成等 県において、「ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会」(平成27年8月設立)を開催し、28年度中に提言をとりまとめ予定。地域復興実用化開発等促進事業費補助金により、一部具体化。				環境・リサイクル産業集積を目指す	

イノベーション・コースト構想の個別プロジェクトのスケジュール及び進捗状況(2/3)

※経済産業省資料

分野		実施主体	立地場所 (現時点)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	
エネルギー	①避難地域・再生可能エネルギー復興支援プロジェクト	発電事業者	南相馬市、楡葉町、富岡町、大熊町	スキーム整備		再エネ導入・復興支援				
	②風力発電拠点形成プロジェクト(陸上・洋上)	陸上 洋上 発電事業者 福島洋上風力コンソーシアム	阿武隈山系、南相馬市、広野・楡葉沖	風況調査、事業者公募、環境アセス 実証研究		発電所建設 実証研究後の方向性の検討				
	③高効率石炭火力発電(IGCC)プロジェクト	東京電力 常磐共同火力	広野町 いわき市	環境アセス		発電所建設(東京電力広野火力発電所・常磐共同火力勿来発電所)				
	④天然ガス(LNG)火力発電プロジェクト	火力発電所 エンジン発電所 福島ガス発電	新地町	環境アセス		火力発電所建設 エンジン発電所建設				
	⑤天然ガス(LNG)の地域利用促進プロジェクト	民間事業者 市町村	新地町	構想具体化		事業着手、導入拡大				
	⑥復興まちづくりのためのスマートコミュニティ形成プロジェクト	県・市町村 民間事業者	相馬市、楡葉町、浪江町、新地町	モデル選定、可能性調査		モデル事業の実施、導入拡大				
	⑦水素によるエネルギー貯蔵・効率的利用プロジェクト	県・市町村 民間事業者	未定	研究開発等		実証事業の実施				
	⑧バイオマスプロジェクト(メタン発酵・藻類)	メタン発酵 藻類 市町村、発電事業者 民間事業者	南相馬市	研究開発		モデル事業の実施 事業化支援		導入・普及		
	⑨小水力発電導入拡大プロジェクト	県・市町村 発電事業者	未定	県ダム等		他のダム等への導入拡大				
	⑩浜通りのポテンシャルを生かした産業の集積	国・県・市町村	いわき市、楡葉町	支援制度の創設、企業誘致等						

平成27年7月に、県において、第1回「福島県再生可能エネルギー復興推進協議会」を開催。再エネ復興支援事業補助金により、これまで南相馬市、楡葉町、富岡町、大熊町の事業者を支援。

阿武隈地域と沿岸部を対象に計画に着手。県において風況調査や環境アセスメント調査を広域的に実施中。福島浮体式洋上ウインドファーム実証事業では、5MW風車の試験運転に向けた準備作業を実施中。

東京電力など5社により、IGCCプロジェクトの推進について基本合意書を締結(平成27年8月)。

福島ガス発電所(株)を平成27年4月に設立。平成28年9月に環境アセス準備書を告示。

福島県スマートコミュニティ推進検討会(平成27年5月設立)を、これまで4回開催。平成28年度中にマスタープランを策定予定。

導入促進事業で採択された4市町(相馬市、楡葉町、浪江町、新地町)においてマスタープランを策定中。

福島新エネ社会構想(平成28年9月資源エネルギー庁とりまとめ)において、水素社会実現のモデル構築を進めていくことを決定。

藻類産業創成コンソーシアムにより、南相馬市において、排熱等を利用した福島産土着藻類バイオマスによる燃料生産実証事業を実施中。

県予算において、事業可能性調査、整備導入支援を実施中。

風力発電関連産業及び蓄電池関連産業において、関連企業を誘致。

イノベーション・コースト構想の個別プロジェクトのスケジュール及び進捗状況(3/3)

※経済産業省資料

分野		実施主体	立地場所 (現時点)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)
農林水産	①水稲超省力・大規模生産プロジェクト	国、県、民間企業	南相馬市、飯館村		開発・実証			導入・普及	
				先端農林業ロボット研究開発事業を活用し、自動走行システム付きトラクター、除草ロボットを開発中。10月に南相馬市と飯館村で現地実証予定。					
	②畑作物大規模生産プロジェクト	国、県、民間企業	南相馬市、飯館村		開発・実証			導入・普及	
				先端農林業ロボット研究開発事業を活用し、自動走行システム付きトラクター、除草ロボットを開発中。					
	③環境制御型施設園芸構築プロジェクト	市町村、民間企業等	大熊町、いわき市	施設整備					
				大熊町におけるイチゴの高設栽培整備計画を作成。いわき市に太陽光利用型植物工場を建設。(平成28年4月完成)					
	④フラワー・コースト創造プロジェクト	全域	いわき市、南相馬市、新地町	実証試験		施設整備			
				いわき市、南相馬市、新地町において、花き栽培技術の実証研究を実施中。飯館村においてカスミソウ用ハウスの整備を開始。					
⑤阿武隈高地畜産業クラスタープロジェクト	ICT等個体管理技術 ICT等導入モデル農場	市町村等	未定	開発・実証			導入・普及 施設整備		
			阿武隈高地におけるICT等導入モデル農場となる繁殖牛100頭規模の和牛繁殖農場を整備。						
⑥県産材の新たな需要創出プロジェクト	林業用ロボット CLT等新技術 木質バイオマス	国、県、市町村、民間企業等	南相馬市 未定 南相馬市	開発・実証			導入・普及		
			苗木植栽ロボットを開発し、10月から南相馬市で実証を開始予定。木質バイオマスについては、南相馬市小高区で実証プラントによるメタンガス製造実用化に向けた調査研究を実施中。						
⑦水産研究拠点整備プロジェクト		県	いわき、相馬市	施設整備			試験・研究		
			相馬市にて水産種苗研究・生産施設を建設中。いわき市の水産研究拠点については整備のための基本・実施設計中。						
⑧作業支援プロジェクト		県、イノイス	未定	研究・開発			導入・普及		
			農業用アシストスーツ、水田除草ロボットの現地実証を実施中。						